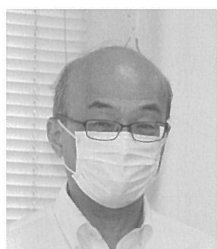


NEWS

新入社員安全衛生教育・研修開催

- ・日 時：令和4年9月1日（木）午後1時30分
- ・場 所：協会3階会議室（名古屋市中区）
- ・参加者：14名（14社）

安全衛生委員会（伊藤泰雄委員長）は、職場における安全衛生水準の向上、労働災害のより一層の減少を図るため、新入社員（概ね入社後3年以内）の安全衛生教育・研修を開催しました。



挨拶する
堀部専務理事

開会の挨拶で安全衛生副委員長の専務理事 堀部隆司氏は「本日は本新入社員安全衛生教育・研修にご参加いただきありがとうございます。本研修は、概ね入社後3年以内の新入社員に向けての研修ですが、既に就業された会社にて安全衛生の研修を受けているとは思いますが、産廃業界は非常に事故の多い業界です。本日は現場でもご活躍の2名の安全衛生委員の方を講師としてお招きしてお話を伺いますので、本日の研修内容を明日より社内にて実践していただければと思います。」と述べました。

◎研修Ⅰ：（株）リバイブ代表取締役社長 平沼伸基氏

平沼氏は最初に「ご安全に」と挨拶され、「実は私は本研修の講師を昨年も担当させていただき、今年も是非担当させていただきたいと願っていました。何故かという、怪我をしまでする仕事はありません。しかし、当業界の仕事は危険と隣り合わせであり災害事故の発生率からも証明されているのが、この産廃業界の特徴です。“挟まれ”、“巻き込まれ”や、まさかと思うことがありますので、自分の身を守るため短い時間ですがしっかり習得をしてください。」と述べ、テキストを基に研修を進めました。「仕事への慣れ」、特に自分で勝手な判断をしてはいけないとのこと、よく耳にする「報連相」は重要であるが、プラス「確認」も必要である。また、自分の身



講師として登壇された
平沼氏



を守る『自助』、仲間の身を守る『共助』、安全な業界にする『公助』について話し、「過去の仕事を優先する業務を改め、安全のために何をしていくか心の余裕が必要であり、安全な業界であるという実態を作っていくことを推進する優秀（優しさに秀でた）な安全推進者になってください。」と研修の中で語られ、内容ごとに自社の例を交え前半の研修を行いました。

◎研修Ⅱ：（株）新栄重機 専務取締役 今村昌根氏

始めに今村氏は自己紹介と会社概要を述べられ、後半内容の研修を始め、⑩整理整頓では、自社の工事現場における安全な作業に結びつけた事例を紹介されました。⑬5S運動（2）では、1.笑顔、2.誠実、3.スピード、4.努力と研究、5.センス、について、この5つができれば、職場やお客さんにとっても喜ばれるとのこと、是非実践していただきたいとのことでした。研修を通じて今村氏は「産廃業界は資源循環としてこれから成長していく業界なので、災害事故が多いということは悲しいことです。各社で安全衛生の質を向上し、この業界で従事したいと思われるような業界にしていきたいと思います。」と述べ、研修を終えました。



講師として登壇された
今村氏

研修後、修了証が堀部専務理事より受講者に手渡され閉会となりました。

※今号の安全衛生情報では、（株）新栄重機の取組について掲載をさせていただいております。